

# 「教材データベースリンク集」の有用性に関する研究

－特別支援教育専門科目を履修する大学生へのアンケート調査の結果から－

○阿部 崇

野澤純子

（東京家政大学子ども支援学科）（東京家政大学子ども支援学科）

KEY WORDS:教材データベース 大学生 アンケート調査

## 【目的】

本研究は東京家政大学 HP にある「特別支援教育の教材データベースリンク集」（以下、教材リンク集）について特別支援教育専門科目を履修する大学生に紹介し、教材リンク集を使用したアンケート調査を実施した。調査結果を基にして、教材リンク集の自己研鑽教材としての有用性を明らかにすることが本研究の目的である。

## 【方法】

東京家政大学の特別支援教育専門科目を履修する 3 年生 47 名を対象に、教材リンク集の利便性等を評価した。2020 年 10 月 30 日の授業において教材製作の課題を提示し、筆者が制作した教材リンク集を紹介した。分析は Google アナリティクスを使用し、教材リンク集へのアクセス数を集計した。また 2020 年 11 月 21 日から 12 月 11 日に Web アンケートを実施し、回収率は 91.4%であった。質問項目は①教材リンク集へのアクセス回数、②教材リンク集の満足度、③教材リンク集の満足度についての回答理由、④教材リンク集に関する内容の印象、⑤教材リンク集に関する見た目の印象、⑥情報の探しやすさ、⑦教材リンク集の役立ち度、⑧教材リンク集に対しての意見・要望とした。なお本研究は倫理的配慮として東京家政大学狭山研究倫理委員会承認された。

## 【結果】

### 1) 教材リンク集へのアクセス数

対象期間と前後 1 週間のアクセス数を図 1 に示した。教材リンク集を紹介した 2020 年 10 月 30 日から 12 月 11 日の期間における総アクセス数は 275 件であった。最多は教材リンク集を紹介した 10 月 30 日（47 件）、次いで 12 月 5 日（32 件）であった。

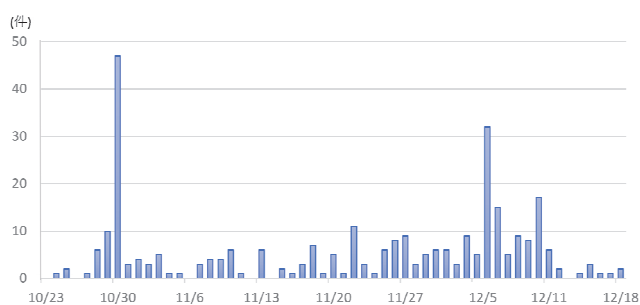


図 1 教材リンク集へのアクセス数

### 2) 教材リンク集の満足度(選択、自由記述)

満足度は高く、「満足」58%、「まあまあ満足」23%、「大変満足」19%であった。回答理由として、「自分では思いつかなかったことや、取り組まれている教材について知るきっかけになったから」、「写真等もあり、どのように活用すればよいか分かりやすかったから」等の意見が見られた。

### 3) 教材リンク集に関する内容、見た目の印象(自由記述)

内容については「図書館でも教材について書籍を見たが、こうしたコンテンツの方が活用しやすいと感じた」、「知らない教材・教具が沢山あり、ねらいや活用方法共に知ること

た」等の意見が見られた。また、見た目については「シンプルな色使いで良かった」、「必要な情報が分かりやすく伝わりやすい」等の前向きな意見が多く見られた。

### 4) 情報の探しやすさ、教材リンク集の役立ち度(選択)

教材リンク集の情報の探しやすさについては「大変そう思う」、「そう思う」を合わせると約 70%を占め、役立ち度については「大変そう思う」、「そう思う」を合わせると約 90%の回答が得られ、概ね肯定的な回答が得られた(図 2)。

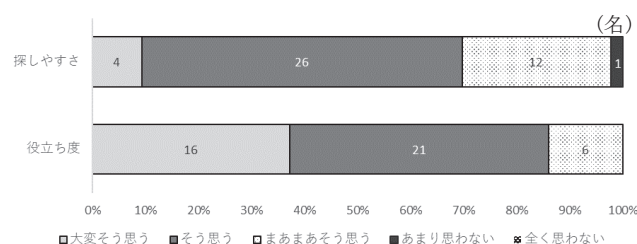


図 2 「情報の探しやすさ」と「役立ち度」

### 5) 教材リンク集に対しての意見・要望(自由記述)

「教材・教具のサイトが一覧になっていることで、調べる時間も省けるし、とても参考になるサイトばかりだったのでこれから役に立つ」、「特別支援学校の教員でなくても、障害児と関わる際の参考になる」との意見があった。その一方で、「大学全体のページから探すことが分かりにくいと感じた」、「これからも教材リンク集を活用して特別支援学校での実習などで参考にしたいと考えているため、さらに多くの情報が増えてほしい」との要望が見られた。

### 【考察】

教材リンク集は、利用者にとって利便性が高く、また、全国の教員が実践で活用する多様な教材に触れることで、新たな気づきを得て、教材製作に意欲を掻き立てられる内容でもあった。また、いつでも見ることができた点や、一度に教材の画像を見ることができた点に前向きな意見が見られた。自分自身で学びを深めることができることや特別支援学校の教育実習等でも参考となるツールであるとの意見があり、教材リンク集の有用性が示された。つまり、この教材リンク集は単なる教材紹介にとどまらず、教材を活用した教育実践の蓄積に容易に触れることを可能とし、利用者自身の自己研鑽のツールになり得ることが示唆された。また、一部の学生から大学 HP からアクセスしにくかった点や、より多くの人が利用できるような情報発信の工夫やアップデートの必要性についての指摘が見られた。これらの意見については今後の課題として取り組んでいきたい。

### (附記)

本研究は東京家政大学総合研究プロジェクト「インクルーシブな教育推進のための障害理解推進モデルの構築 - 教員養成・現職教員研修教材の開発 -」(2018 年度 - 2020 年度)による研究活動の一環として行われた。

### 【特別支援教育の教材データベースリンク集】

[https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/education\\_for\\_childcare/community/](https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/education_for_childcare/community/)

(ABE Takashi, NOZAWA Junko)